

"Time travel with Bonnet Bus" Tour of Otaru History

小樽市内
定期観光
バス

小樽の 明治・大正・昭和を 訪ねて

ボンネットバスで“タイムスリップ”

歴史とロマンあふれる小樽の街を
レトロなボンネットバスに乗って訪ねてみませんか？

予約制

1日23名様
限定

小樽
発着

料金 大人3,000円 小人1,900円

(にしん御殿小樽貴賓館(旧青山別邸)入館料を含む)

札幌・小樽間高速バスセット券 大人3,700円

運行期間 平成23年
4月29日～10月10日の毎日運行



地元の専門ガイド
(小樽ガイドクラブ)が
懐かしい衣装
でご案内

※イラストはイメージです

他の定期観光には無い ステキなおまけ付！

- 新倉屋の「花園だんご」をご賞味いただけます
(黒あん・白あん・抹茶あん・醤油・胡麻の中から1本)
- 鮎屋六兵衛本舗の「昔ながらの鮎」をご賞味いただけます
- あまとうの「マロンコロ」をご賞味いただけます
(アーモンド・チーズ・カカオ・ウオナッツから1個)
- 小樽バインにて、定期観光乗車券半券の提示で、
飲食10%引
- 降車後は定期観光乗車券半券の提示で、
おたる散策バス・天狗山線が乗り放題！(当日限り)
- 天狗山にて、定期観光乗車券半券の提示で、
ロープウェイ1割引+ポストカード進呈
- 寿司屋通りの各寿司店他、市内の食事箇所でお使い
いただけるお得な「ミールクーポン」を車内販売
いたします(1枚1,000円)



行程表

★下車見学 ■途中降車可 所要時間:3時間15分(小樽駅前発着)

- グランドパーク小樽(9:00)
- おたるふる川、ホテルソニア、ホテルノルド小樽(9:10)
- オーセントホテル小樽(9:15)
- 小樽駅前バスターミナル(9:30発)
- ★にしん御殿小樽貴賓館(旧青山別邸)(40分)
- ★旧日本郵船・北運河(15分)
- 鮎屋六兵衛本舗・北のウォール街(車窓)
- ★旧手宮線…徒歩…日銀金融資料館(外観)…
…旧北海道銀行本店(小樽バイン:試飲・買物)
- ★小樽歴史館(30分)
- ★■小樽運河ターミナル
- 寿司屋通り
- 小樽駅前バスターミナル(12:45着)

*当日でも空席があればご乗車いただけます

※ボンネットバスによる運行のため、1日23名様限定コースです。増発便の取扱いは致しません。
※整備・故障等によりボンネットバスが配車されない場合があります。予めご了承ください。
※各見学の滞在時間は、当日の交通事情・お客様の人数などにより、変動する場合があります。
※各施設の休業や見学制限等により、コース到着時刻が早まる場合があります。
※交通渋滞や悪天候でバスが遅れる場合がありますので、他の交通機関への乗継には充分な
余裕をお取りください。
※災害やマラソンの交通規制等により運行を取りやめる場合もありますので、運行状況については、
その都度お問い合わせください。

※前日18:00までにどなたからもご予約がなかった場合は、運休となります。

■お問い合わせ・ご予約は…

中央バス 小樽ターミナル TEL(0134)25-3333

(営業時間/7:30~18:00) <http://www.chuo-bus.co.jp/>



ボンネットバスで“タイムスリップ”小樽の明治・大正・昭和を訪ねて

見どころ&オススメ

地元老舗のスイーツを食べながら、懐かしいボンネットバスに乗って
小樽の明治・大正・昭和の歴史的建造物や街並みなどをめぐります。
バスガイドや運転手もレトロな衣装でお出迎え、まるでタイムスリップしたような気分にご案内します。



ニシン漁で巨万の富を得た青山家が、大正六年から約六年かけて完成させた別荘です。本州から大勢の職人や絵師を招き、金に糸目を付けず建築した北海道屈指の美術豪邸で、国の登録有形文化財にも指定されています。

小樽貴賓館(旧青山別邸)



明治39年に完成した、重厚な近世ヨーロッパ復興様式の建物です。内装は大理石敷き玄関や木彫りの大階段手すり、金唐革紙の壁紙など、華やかで贅を尽くしたつくりです。大テーブルのある2階の会議室では日露樺太国境画定会議が開かれました。

旧日本郵船(株)小樽支店



北海道で最初の鉄道「幌内鉄道」の一部として、明治13年に開通しました。幌内からの石炭を小樽港から全国に搬出するなど、北海道開拓に重要な役割を担っていましたが、利用の減少により昭和60年に廃止となりました。

旧国鉄手宮線



明治45年に建築された旧北海道銀行本店を利用したワインショップ・ワインカフェ。ショップでは小樽ワインを中心に北海道産のワイン100種類以上を品揃え。また、カフェでは地元産の食材を活かしたお食事をワインと一緒に楽しめます。

小樽バイン(旧北海道銀行本店)



昔の派出所警官の衣装を着たガイドがパフォーマンスとともにご案内。小樽の礎を築いた商人たちの業績を中心に、小樽の歴史について解説しています。館内では昆布茶の試飲もできます。

小樽歴史館

昔なつかしいボンネットバス

昭和41年に四国で製造され、路線バスとして運行していました。現在は小樽市内の定期観光バスとして使用されています。



「小樽の明治・大正・昭和を訪ねて」コース 見学年表

- (一八六五年(元治二年)) 幕府は「オタルナイ」を村並とする
- (一八六九年(明治二年)) 開拓使を置き「蝦夷」を改め「北海道」と称し「オタルナイ」を「小樽」と改める
- (一八八〇年(明治十三年)) 幌内鉄道(小樽市手宮〜札幌間)開通
- (明治二十年代) 小樽沿岸のニシン漁獲量がピークに
- (一八九五年(明治二十八年)) 幕匠新倉屋創業
- (一九〇四年(明治三十七年)) 日露戦争勃発(〜一九〇五年)
- (一九〇六年(明治三十九年)) 旧日本郵船(株)小樽支店竣工
- 日露樺太国境画定会議 ※①
- (一九一一年(明治四十四年)) 旧小樽高等商業学校(現「小樽商科大学」)開校
- 旧小樽区公会堂完成 ※②
- (一九一二年(明治四十五年)) 旧北海道銀行本店(現「ワインショップ小樽バイン」)竣工
- 旧日本銀行旧小樽支店(現「日銀金融資料館」)竣工
- (一九一八年(大正七年)) 船屋六兵衛本舗創業
- (一九二二年(大正十一年)) 旧三菱銀行小樽支店(現「小樽運河ターミナル」)竣工
- (一九二三年(大正十二年)) 小樽運河完成
- 旧青山別邸(現「小樽貴賓館」)完成
- 旧北海道拓殖銀行小樽支店(現「ホテルヴィブラント小樽」)竣工
- 旧第一銀行小樽支店(現「紳装協同組合」)竣工
- (一九二四年(大正十三年)) 旧岡崎家能舞台(現「能楽堂」)完成
- (一九二六年(大正十五年)) あまとう創業
- (一九二九年(昭和四年)) 天狗山にリフトが設置される
- (一九五二年(昭和二十七年)) ニシンが小樽沿海から姿を消す
- (昭和三十年以降) 旧小樽区公会堂、能楽堂が現在地に移設される
- (一九六〇年(昭和三十五年)) 本日乗車のボンネットバスが製造される
- (一九六六年(昭和四十一年)) 第一回 おたる潮まつり開催
- (一九六七年(昭和四十二年)) 「旧日本郵船(株)小樽支店」が国の重要文化財に指定
- (一九六九年(昭和四十四年)) 天狗山にロープウェイが架設される
- (一九八〇年(昭和五十五年)) 小樽運河が現在の形になる
- (一九八六年(昭和六十一年)) 小樽運河ターミナルオープン
- (二〇〇六年(平成十八年)) 小樽歴史館開業
- (二〇〇九年(平成二十一年)) 北海道中央バスの「小樽の明治・大正・昭和を訪ねて」コース運行開始
- (二〇一一年(平成二十三年))

天狗山の山頂から北海道三大夜景を眺めてみませんか?

山頂の鼻まで天狗さんは願いを叶えてくれる!?

近年漁獲量が徐々に回復してきた

茨木家・白鳥家と並んで「祝津御三家」と呼ばれていた

※② 当時の皇太子(後の大正天皇)ご宿泊のために建てられた和風建築

小井多喜二、伊藤整など多数の著名人を輩出

北海道で最初、主に石炭輸送で活躍

※①会議が旧日本郵船(株)の2階会議室で、その祝宴は海陽亭の「明石の間」で催された